

「ワークショップ」の進め方

ワークショップとは

ワークショップは、参加者全員が主体となって議論を行い、課題解決、合意形成、学習などを行う「場」です。

ワークショップの特徴

ワークショップには以下のような特徴があります。

- 参加者みんなで作り上げていく達成感がある
- 自分の知識・体験が役立つ
- 様々な価値観に触れられる



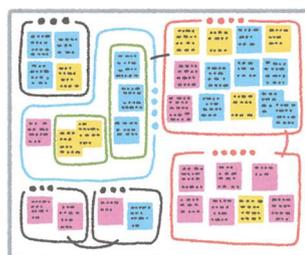
ワークショップのルール

以下のルールを守り、活発な意見交換を行いましょう。

- 他の参加者の意見を否定せず、意見を出しやすい雰囲気を進めましょう
- なるべく参加者全員で積極的に意見を出し合いましょう
- ファシリテーター※の進行に沿って進めましょう

※ファシリテーター：「会議を進行する」「参加者に発言を促す」「話の流れをまとめる」役割を持つ人。

今回のワークショップでは、全体的に会議を進行するファシリテーターと各班での会議を進行するファシリテーターがいます。



【ワークショップ①の進め方】

 みなさんで議論するキーワードは、昨年実施した中学生アンケート調査の結果を基本として挙げられているものです。

 このキーワードについて、地域にとって重要であると思われるものに、最大5つまでシールを貼って、その結果からグループ内でキーワードを選びます。

※1つのキーワードに個人で5つ貼っても構いません。



 皆さんが選んだキーワードは、今後事務局で地域の将来像（キャッチフレーズ）を検討する材料となります。

【ワークショップ②の進め方】

 課題図は、地域の現況やアンケート調査結果、第1回懇談会の意見を参考に事務局が考えた叩き台です。

 まずは、課題図をみて、足りないものがないかを考えましょう。ここで考える課題は具体的な内容や場所が分かるものに絞りましょう。

 課題図をみて、まずはそれぞれで解決策を考えて付箋に書き出しましょう。ファシリテーターの進行に従って意見出しをして、お互いが考える解決策を共有しながら、まとめていきましょう。

